

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	昼間尿失禁と夜尿症における脊髄係留症候群の頻度			
② 研究期間	学長許可日から 2025 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で昼間尿失禁および夜尿症のため受診した患者さん			
④ 対象期間	2007 年 1 月 1 日 から 2021 年 12 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学泌尿器科			
⑥ 研究責任者	氏名	森澤洋介	所属	泌尿器科
⑦ 使用する試料・情報等	対象患者さんの年齢、トイレトレーニングの時期、便秘の合併、治療内容、小児下部尿路小質問票の点数、ウロダイナミクス施行の有無とその検査時期、脊椎MRIの施行の有無とその検査時期、脊髄係留症候群の診断の有無を電子カルテより抽出します。			
⑧ 研究の概要	小児の昼間尿失禁および夜尿症の標準治療は薬物治療を中心に保存的加療を行うことが一般的ですが、難治性の患者さんの中に脊髄係留症候群という神経疾患が背景に存在している方がいます。昼間尿失禁や夜尿症を主訴にした患児の中に脊髄係留症候群が含まれている可能性を想定することは重要ですが、脊髄係留症候群の正確な頻度は明らかになっていません。昼間尿失禁および夜尿症は泌尿器科だけではなく、一般小児科でも広く診療されており、脊髄係留症候群の頻度が明らかになれば、昼間尿失禁および夜尿症の診療にあたる多くの先生方に膀胱機能障害のスクリーニングの重要性を訴えることができ、診療の発展につながる研究です。			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するた			

扱い	め、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 担当者：森澤洋介			
	電話	0744-22-3051	FAX	0744-22-4121
	Mail	morizawa@naramed-u.ac.jp		